

総選挙 小選挙区候補 近畿42氏発表

過半数 23 人が前回から交代 悪政打ち破る先頭に

小池晃書記局長は5日の記者会見で総選挙に向けた小選挙区(定数295)の候補者254人(第一次分)を発表しました。近畿2府4県(定数48)の候補者は42人。大阪17人(定数19)、兵庫9人(同12)、京都6人(同6)、滋賀4人(同4)、奈良4人(同4)、和歌山2人(同3)。前回からの交代が過半数を超える23人というフレッシュな布陣です。比例との重複は穀田恵二(京都1区)、清水忠史(大阪4区)、堀内照文(兵庫8区)の3現職です。

小池書記局長は「候補者が先頭に立ち、地域に大いに打って出て、共産党の風を吹かせ、悪政を打ち破るために頑張り抜く」と語りました。

県・小選挙区で政府交渉 要求実現へ大奮闘

兵庫県委 今年2回目、6省庁と40項目

兵庫県委員会は11月25日、40項目を掲げ6省庁と交渉。小選挙区候補5人、県議、神戸市議、西宮、三田、伊丹の各市議ら16人が参加しました。4月に続き今年2回目の政府交渉です。

「自然エネルギー普及のためにも太陽光パネルの設置に必要な規制を」との要求に、経産省は自治体との事前協議、住民説明を求めるガイドライン作成を進めていることを明らかにしましたが、防災措置については所管外として回答しませんでした。JR元町高架下の商店街追い出し、借り上げ住宅からの住民追い出し、保育所・保育所の設置、配置基準の緩和問題、ホームドアの設置、バリアフリーの推進などを求めました。

交渉には穀田恵二、宮本岳志、清水忠史、堀内照文各衆院議員、山下芳生参院議員が参加。市田忠義参院議員が激励しました。



兵庫8区・尼崎市議団 堀内さんと力合わせ要求届ける

堀内照文衆院議員の選挙区・尼崎市の市議団は11月24日、市議6人、市議予定候補2人と県議が参加し、5省と19項目要求で交渉しました。来年6月に市議選が行われる尼崎市では、小選挙区8区の候補者になった堀内さんとともに要求を届けようと、要求懇談会も開いて交渉に臨みました。

アスベスト被害の治療費が、市の国保から支払われていることについて「市民は被害者なのになぜ負担させられるのか。全額を国と企業で負担を」と要求。参加した大門実紀史参院議員は「合理性がない」と指摘しました。

大阪4区 清水さんと3省、16項目で交渉

清水忠史衆院議員の選挙区・大阪4区では4区責任者、地区委員長、府・市議予定候補ら14人が3省と16項目要求で交渉しました。4区としての政府交渉は初めてで、要求懇談会やウオッチングも行いました。国交省には淀川堤防の補強、淀川左岸線の2期工事と延伸部の事業取りやめ、駅ホームでの転落防止を求めました。交渉には清水議員が全省に参加、たつみコータロー参院議員も同席しました。

奈良 少年刑務所の保存・活用で説明求める

赤レンガの「近代名建築」奈良少年刑務所の保存・活用で地元から「説明が行われていない」などの批判が上がっていることから、1日、山村幸穂県議、北村拓哉奈良市議が清水衆院議員同席で法務省、文化庁から聞き取りを行いました。法務省は「心配をかけて申し訳ない」とのべ、複数回の住民説明会を開くなどを約束しました。

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel 06(6975)9111 Fax06(6975)9115

部内資料【府県・地区・地方議員御中】

No. 2(2016.12.7)